

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	造園緑地実験Ⅱ [Field Experiments of Landscape GardeningⅡ]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	710049	授業形態	実験	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	日高 英二			学位授与の方針 との関連			
授業概要	適時、植物に関する管理作業も含める。造園・緑化技術に関わる、林学、植物生理学、生態学、土壌物理学等の学際的な分野に関連する測定・観測・調査の技術を学ぶ。主に基礎的な樹木の水分生理特性の計測手法と生態調査ならびに微気象や水収支に関わる基礎的項目に加え、樹液流測定法、灌水技術や微気象の調整技術などの応用的な項目についても取り扱う。打音式による樹木の腐朽診断法についても取り扱う。”みどりと土”に関する基礎的な実験を行い、データ解釈の意味が理解できるようにする。						
関連する科目							
授業の進め方と方法	樹木や植栽環境の調査方法の練習後、実際に計測を行い、データ整理やデータ解釈をレポートとして提出。						
授業計画	<p>第1-2回 ガイダンス、挿木実験1:挿木樹種検討、挿し穂採取、</p> <p>第3-4回 挿木実験2:挿し穂調整、データ採取、挿し木</p> <p>第5-6回 挿木実験3:発根量(発根率・根長・根量)調査</p> <p>第7-8回 挿木実験4:挿し木実験のデータ整理</p> <p>第9-10回 樹木生育環境調査1:樹勢衰退度の調査</p> <p>第11-12回 樹木生育環境調査2:土壌調査1(貫入試験・透水試験)</p> <p>第13-14回 樹木生育環境調査3:土壌調査2(貫入試験・透水試験)</p> <p>第15-16回 樹木生育環境調査4:生育環境調査のまとめ 土壌改良方法の検討 樹種または生育場所ごとに樹木生育調査と土壌調査を行い、土壌改良の方針を検討する。</p> <p>第17-18回 土壌改良実践1:トレンチ法またはスポット改良</p> <p>第19-20回 土壌改良実践2:縦穴式割竹挿入法</p> <p>第21-22回 土壌改良実践3:土壌改良のまとめ 各種土壌改良法を実践し、作業に必要なスキルを習得する</p> <p>第23-24回 樹木移植1:根巻法の練習</p> <p>第25-26回 樹木移植2:掘り取り・鉢決め</p> <p>第27-28回 樹木移植3:定植・水極め 樹木の移植の流れを体験する。</p> <p>第29-30回 実験のまとめ</p>						
授業の到達目標	造園緑地系に必要な植栽環境に関する知識と計測方法を習得し、造園緑地技術者として必要なフィールド調査・データ整理能力の醸成を目的とする。また、植生の生育環境改善のための方法論について、実験的な検討を加える。						
授業時間外の学修	日ごろから身近な樹木や下草等、植物に関心を持って、良く見ておく習慣づけが必要である。その姿が人の手が加わっているか否かを見分けられるよう経験を積み重ねられたい。授業時に復習として30分程度の振り返りが必要である。						
課題に対する フィードバック	提出課題を評価後、返却します。		評価方法		適宜出される課題(20%)と報告を含めた実験への取り組み状況が全体的に評価される。(80%)		
テキスト	その都度プリント配布						
参考書	特になし						
備考							